

第11回 保育部会研究委員報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり（れんげ保育園）		
開催 日時	令和 7年 2月19日	開催場所	益田市 神田保育園	記 録 者	皆吉 征子 （おぐに保育園）
	9：00 ～ 15：00				
出席者	うみかぜ保育園 くもぎ保育園 三隅保育所 みのり第2保育園 おぐに保育園			欠 席 者	浜田ひかり保育園

○益田市 認定子ども園 神田保育園にて視察研修を行いました。

0歳児 7名	3歳児 10名	
1歳児 8名	4歳児 12名	
2歳児 11名	5歳児 10名	合計58名

○午前中は、園舎見学や縦割り保育の活動を見学しながら現場の先生からお話を聞かせて頂きました。

0、1歳児と2歳児は戸外遊び、室内遊びを子どもたちが選択して遊ぶ。3、4、5歳児はお散歩へ出かけました。

○午後からは、見学をふまえて園の概要、保育目標などパワーポイントを見ながら園長先生よりお話しをして頂きました。その後、0、1、2歳児の現場の先生を交えて意見交換を行いました。

○視察研修を終えての感想

- ・子どもの興味や関心、発達に合わせて環境構成が工夫されており、子どもが1つの遊びに落ち着いて、集中して遊んでいた。
- ・伸びようとする力が育つよう主体性を大切にされていた。
- ・「やってみたい、見せたい。」という子どもの気持ちを大切に、子どもたちが表現する場所や仕方を考え、行事の見直しをされていた。
- ・職員同士の対話の時間を確保し、今の子どもの姿に向き合う保育ができるよう保育士同士の連携、共通理解が十分に取れている事が子どものプラスになっている。（保育ウェブ、ドキュメンテーションの活用、研修等）
- ・職員同士の話し合うことで、子どもの声がしっかり聞けていくのではないだろうか。
- ・役割の分担、書類の軽減などで話し合いの時間が確保されるのは理想である。
- ・当たり前の事から見直していき、自園でできることから取り組んでみたい。

○次回研究委員会

令和7年3月17日（月）14：00～ 浜田市総合福祉センター 研究室
アンケート集計を基に話し合い、視察研修の振り返り。



この研修を元に、実践できる取り組みを研究発表につなげていきたいと思います。